

平成 13 年 4 月 13 日

株式会社セガ
代表取締役社長 佐藤秀樹 様

日本アダルトチルドレン協会(JACA)

代表 吉田恭子

〒 156-0056 東京都世田谷区八幡山 3-12-11 ハイファミリーナ 101

TEL 03-3329-5597

特定非営利活動法人ASK(アルコール薬物問題全国市民協会)

代表 今成知美

〒 103-0077 東京都中央区日本橋浜町 3-19-3 ソカノビル

TEL 03-3249-2551

アクション問題を考える会(AKK)

代表 米山奈奈子

〒 156-0057 東京都世田谷区上北沢 4-32-11 上北沢コーポラス 707

TEL 03-3329-0122

ゲームソフト『セガガガ』のキャラクター 「アダルトチルドレン」命名に対しての抗議文

私達JACA・ASK・AKKの三団体は、各団体ともにそれぞれ、アダルトチルドレン(略称=AC)の問題および、それに連なる依存症・共依存・児童虐待・家族間暴力などの問題に向き合い、この10年前後にわたって活動を続けてまいりました。

さて先日インターネット上にて、貴社が開設しておられるホームページを、偶然拝見したところ、このたび貴社で発売されたゲームソフト『セガガガ』のキャラクターの中に、「アダルトチルドレン」なるものを発見し、たいへんな驚きとともに、強い怒りと困惑をおぼえました。この「アダルトチルドレン」なるキャラクターの性格を記述した文章は、既に世間に流布している誤解と偏見を、さらに歪曲した形で踏襲したものであり、尚かつ視覚的にも、あたかも「オムツを着けた変なオジさん」を思わせるキャラクターの形状が、そうした誤解と偏見を、より輪をかけて助長するものでしかないからです。

アダルトチルドレン(アダルトチャイルド)という言葉は、1982年頃、アメリカの精神保健の現場で派生し、日本では90年代初頭から使われるようになりました。以来、今日まで私達は、このアダルトチルドレンという言葉、児童虐待や家族間暴力、あるいは摂食障害・アルコール・薬物等の依存症などの問題を適切に理解するための、重要なキーワードとして捉えてきました。しかしながら、日本語訳のないこの言葉自体の、或る種のインパクトもあってか、「おとなコドモ」=精神的に未成熟で社会適応が出来ない人々を意味するレッテルとして、誤用される場合があります。

本来この言葉は、「機能不全を起こしている家族内で成育した人々」を意味し、たとえばアルコール依存症の父親の世話をしたり、父親の暴力を受ける母親を支え慰めたりと、むしろ大人(親)がすべき役割を負わされた——子供時代を奪われた——人々を指すものです。そして多くの人々が、大人になった自分が抱えている生きにくさを、アダルトチルドレンという視点から理解することで、回復への手がかりを得てきたのです。

このたび貴社から発売されたゲームソフト『セガガガ』の「アダルトチルドレン」というキャラクターは、こうした人々の尊厳を著しく傷つけるものであり、たとえそれが如何なる意図から開発されたものであろうと、結果的には、必死に回復への道を歩んでいるアダルトチルドレンを侮辱し、誤解や偏見を助長することになってしまっているのです。

私達は以下の3点を要望します。

記

- ①「アダルトチルドレン」というキャラクター名の変更
- ②貴社発行の関連ゲーム誌上への、謝罪文の掲載
- ③貴社のお考えにつき、4月18日までに、JACAまでご連絡ください

これまで優れたソフトの開発・販売を通して、社会的な影響力をもつてこられた貴社なればこそ、迅速な対応を期待しております。

なお、JACAのパンフレットと、AKK主催「第18回AKK市民講座」のチラシを同封します。適切な認識をお持ちいただく為の、一助にさせていただきたいと思っております。

以上